

広島大学附属福山中等教育学校（仮称）の学校生活について（予定）

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

6年一貫の中等教育を通して、社会の一員としてのエージェンシー※¹を育成する。特に、附属福山の共有する価値観※²を大切にしながら、次の2点を行う。

- ① 越境※³を推進すること。すなわち各教科での学びの違い、さまざまな学年の思いもよらぬ姿、学校外（大学や地域社会）にあるホンモノに触れ、その過程で生じる困難や葛藤と向き合う経験を充実させること。

※¹ 附属福山での「エージェンシー」の定義

他者と協働し、責任ある行動・表現を通して、自己、社会、環境やその枠組み等を変革していく能力

※² 附属福山の共有する価値観

・多様性を認める ・共通善を求める ・応答責任を果たす

※³ 具体的には次の3つの「越境」を行う

- I 「学校」を越境する
- II 「学年」を越境する
- III 「教科」を越境する

- ② 学校生活全般において、探究活動・表現活動に重きを置いた、多様な機会を個に応じて充実させること。

（I）教育課程について

- ① 日常の授業は、前期課程・後期課程とも、50分授業×6時間（週30時間）でこない、二期制とします。
- ② 前期課程では、日常の授業以外の場面（長期休みの期間など）で、特設の教科活動を実施します。

（例）

- ・各教科でデータを扱う際のスキルや見方・考え方を集中的に学ぶ
- ・事前に理科的な知識を学ぶ→工場を見学→振り返りで学びを深める
- ・事前に地域について学ぶ→社会見学旅行で実際に訪れて確かめる→実地で得た知識や経験をもとにまとめ、発表する

- ③ 前期課程において、後期課程の内容を前倒して学習します。
 （前倒して学習する教科・科目）歴史総合・数学Ⅰ・数学A・物理基礎・
 化学基礎・英語コミュニケーションⅠ
- ④ 通常の授業時間内の一部で、教科を越境する授業を展開します。
 （例）日本の「詩」を科学的な分析も交えながら英語に翻訳する活動
 数学的に解釈したデータを、情報的な技術を活用してグラフ化し、デザイン
 思考やアート思考で表現する創作活動
- ⑤ 後期課程は単位制とし、5年・6年では、教科・科目の受講を生徒それぞれの目的
 に合わせて選択することを可能とし、卒業に必要な単位を74単位とします。
- ⑥ 後期課程では、授業外で生徒が主体的に学ぶ活動をおこなった場合、一定の条件の
 下で単位を認める制度を導入します。
- ⑦ 前期課程3年の総合的な学習の時間と、後期課程の総合的な探究の時間は、4学年
 合同でフィールド（地域）ベースのゼミを開講し、多様なテーマ、多様な学年のメン
 バーで、地域の課題に取り組みます。
 （例）「岡山県真庭市」をフィールドとするゼミで、生徒一人ひとりが、「林業」
 「バイオマスエネルギー」「観光」「若者の定住」といったテーマを設定し、実
 地研修を含む探究活動を実施

（2）学校行事について

- ① 行事時期（学年や学校を越境する活動が主となる時期）と個の活動を推進する時期
 （多様な機会を個に応じて充実させる時期）のメリハリをつけます。具体的には、以
 下ようになります。
- ・4～5月は学校行事をおこなう時期
 （例）オリーブ祭（新入生歓迎行事）・体育祭・オリーブの絆（小豆島研修）
 - ・6～9月は個の活動を推進する時期
 - ・10～11月は学校行事をおこなう時期
 （例）学友祭・オリーブの環（創立記念行事）・広大遠足・修学旅行
 - ・12～3月は個の活動を推進する時期
- ② 学友会（一般的には生徒会）が主催する行事は、企画・運営を学友会本部が中心と
 なり、生徒全員で取り組みます。①で例として挙げた行事のなかでは、オリーブ祭、
 体育祭、学友祭があります。
- ③ 学校行事は、複数の学年がかかわり合って実施します。現在の広島大学附属福山
 中・高等学校とも共同で実施します。

資料 2

2026.3.8 学校説明会資料

広島大学附属福山中等教育学校（仮称）の入学者選抜について（予定）

■ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- ・ 附属福山の価値観を共有している児童。
- ・ 小学校での学習活動を通じて、基礎的な知識や技能，思考力・判断力・表現力を身につけている児童。
- ・ 小学校内外での活動を通じて、新しい活動や学びに責任を持って向かう力を身につけている児童。

（1）生徒募集の概要について

○ 募集人員 128 名。男女の入学者数に著しい差が生じないことを原則とします。

○ 出願時の提出書類

- ・ 志願票（インターネット出願サイトで入力し印刷）
- ・ 「附属福山の価値観を共有した取り組みについて」（指定の様式に記入）
- ・ 個人調査書（指定の様式に所属小学校の先生が記入）

○ 適性検査（3 つとも同一日に実施、試験時間は各 50 分の予定）

- ・ 適性検査Ⅰ：文章をもとに、おもに読解力や内容の広がりを通して適性を測る検査
- ・ 適性検査Ⅱ：資料やデータをもとに、おもに適切に表現できる適性を測る検査
- ・ 適性検査Ⅲ：資料やデータをもとに、おもに読み取ったうえで思考・判断できる適性を測る検査

（2）入学者選抜の方法について

○ 出願時に提出された書類、および適性検査をもって、総合的に選考します。

○ 配点 480 点

- ・ 出願時に提出された書類 240 点
 - ※ 個人調査書の教科の評価については、国語・社会・算数・理科・音楽・
図画工作・家庭・体育・外国語の評定をすべて同比率で評価します。
- ・ 適性検査 240 点
(適性検査Ⅰ・適性検査Ⅱ・適性検査Ⅲ それぞれ 80 点)

資料 3

広島大学附属福山中等教育学校(仮称) 教育課程表(予定)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	特定の期間等に実施するもの				自主的 活動		
前期課程	1年	国語 140			社会 140			数学 140			理科 105			音楽 35	美術 35	保健体育 105			技術・家庭 70		外国語(英語) 140			道徳 35	総合的な 学習の時間 70	学級 活動 35					数学	理科	音楽	美術				
	2年	国語 140			社会 105			数学 140			理科 140			音楽 35	美術 35	保健体育 105			技術・家庭 70		外国語(英語) 140			道徳 35	総合的な 学習の時間 70	学級 活動 35	社会	数学	理科									
	3年	国語 105		社会 140 <small>(歴史 総合)</small>			数学 140 <small>(数学Ⅰ) (数学A)</small>			理科 175 <small>(物理 基礎) (化学 基礎)</small>			音楽 35	美術 35	保健体育 105			技術・ 家庭 35	外国語(英語) 175 <small>(英語コミュ ニケーションⅠ)</small>			道徳 35	総合的な 学習の 時間 35	学級 活動 35	社会	数学	理科	総合										
後期課程	4年	現代の国語 ②	言語文化 ②	地理総合 ②	公共 ②	数学Ⅰ ②	数学 A ①	数学 Ⅱ ①	数学 B ①	物理 基礎 ①	化学 基礎 ①	生物基礎 /地学基礎 ②	体育 ②	保健 ①	英語コミュ ニケーションⅠ ②	論理・表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	情報Ⅰ ②	総合的な 探究の 時間 ①	HR 活動 ①														総合				学校外 活動
	5年	体育 ③	保健 ①	芸術Ⅰ ②	選 択															総合的な 探究の 時間 ①	HR 活動 ①												総合				学校外 活動	
	6年	体育 ②	選 択															総合的な 探究の 時間 ①	HR 活動 ①													総合				学校外 活動		

※この教育課程表は2026年3月8日現在のものであり、今後変更する可能性があります。